

News Release

令和3年2月25日

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構発行の 「サステナビリティボンド」への投資について

JESCOは、このたび、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発行するサステナビリティボンド⁽¹⁾（以下「本債券」という）への投資を実施いたしました。

JESCOは、「基本理念と行動指針」にもとづき、PCB廃棄処理事業と中間貯蔵事業や社会貢献活動を通じ、国連の持続可能な開発目標（SDGs）⁽²⁾の達成に貢献するように努めています。

本債券発行による調達資金は、環境負荷の低減（CO₂排出量が少ないなど環境負荷低減に資する鉄道の建設、船舶の海洋汚染防止など）や必要不可欠な交通インフラの整備（多くの人が利用できる鉄道の建設、離島航路の整備など）等に充当されます。これらの事業は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献するものです。

今後もサステナビリティボンドなどのESG⁽³⁾投資を通じた社会貢献活動に取り組んでまいります。

- (1) サステナビリティボンドとは、調達資金の用途が、①環境改善効果があること（グリーン性）および、②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券のこと
- (2) 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月に国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと
- (3) ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと

<本債券の概要>

債券名：第144回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券（サステナビリティボンド）

発行額：総額100億円

期間：5年（2026年3月19日償還）

以上